

第14回「道の駅花の三聖苑について」

道の駅花の三聖苑の指定管理について、振興公社に委託する議案が二度否決となり、4月以降の営業ができなくなる状況に陥っていることについては、新聞報道等でご承知かと思えます。

そもそも道の駅は、「地元の名物や観光資源を活かして、多くの人々を迎え、地域の雇用創出や経済の活性化、住民サービスの向上に貢献するもの」として期待されています（国土交通省所管）。そして、管理を予定していた振興公社は、町の経済の活性化と雇用拡大、行政の肥大化防止を目的に設立されたもので、長年その役割を担い、直売所を建設しても円滑な管理運営は可能であると判断しておりました。

直売所は、この道の駅の機能をさらに高めるため、町民の皆さまと協議を重ね、計画を策定したものです。町の総合計画等にも直売所整備が定められ、議会の承認も得て直売所設計業務が完了している今、振興公社への委託案が否決となったことは非常に残念であります。

どちらにしても施設の休業は、議会、そして私が望む結果ではありません。お互い小異は捨て、町民の幸福につながる結果になるよう努力することが、我々に託された責務であると認識しております。